

【futureshop】GoQからfutureshopへの注文データ同期方法

futureshop注文データ同期方法

< 自動での注文データ同期方法 >

自動での注文データ同期には「APIオプション」のご契約が必要となります。

APIオプションご契約済みの方

The screenshot shows the GoQSystem web interface. At the top, there is a navigation bar with various menu items. A red box labeled '1' highlights the '各種設定' (All Settings) link in the top right. Below this, a horizontal menu contains several options, with a red box labeled '2' highlighting 'モール詳細設定' (Module Detailed Settings). The main content area is titled 'モール詳細設定' and includes instructions and links for manuals. At the bottom, a section titled '出店中のモール' (Active Modules) displays a grid of module logos. A red box labeled '3' highlights the 'futureshop' logo, which is labeled 'FutureShop2 1号店'.

- 【1】 [各種設定]をクリックします。
- 【2】 [モール詳細設定]をクリックします。
- 【3】 出店中のモール一覧から[futureshop]をクリックします。

外部システム連携設定

受注API 利用しない 利用する

※APIのご利用には、[APIご利用登録申し込みフォーム](#)より、APIご利用登録を行って頂けますようお願いいたします。

APIアクセス設定	
店舗キー	<input type="text"/>
クライアントID	<input type="text"/>
クライアントシークレット	<input type="text"/>
受注を取得する日数	<input type="text" value="10"/> 日分
自動取得	<input type="checkbox"/> 自動取得 <input type="text" value="10分"/>
自動書き出し	<input checked="" type="checkbox"/> 自動書き出し
オプション価格	<input type="text" value="商品単価に加算する"/>
API書出	<input type="text" value="注文ステータスを処理済みに更新する"/>

書名を編集する

6

【4】APIアクセス設定「自動書き出し」にチェックを入れます。

【5】書出し時にfutureshop側の注文ステータスを「処理済み」に更新するかしないか選択します。

【6】[設定を保存して次へ進む]をクリックします。

以上の方法で、自動での注文データ同期設定が完了となります。

書出し対象

「新規」「キャンセル」ステータス以外の下記の条件を満たした注文

- ・GoQSystem上での最終更新日が4日以内の注文
- ・注文日が170日以内の注文

更新される項目

- ・出荷日
- ・伝票番号
- ・ステータス更新
- ・到着予定日

お届け指定日が入っていたらお届け指定日が入ります。

お届け指定日が指定なしの場合は空欄になります。

APIオプションのご契約がまだの方

弊社宛にお電話（03-4446-6259）または[お問い合わせフォーム](#)よりご連絡下さい。

APIオプションの費用は下記となります。

- ・初期費用：10,000円（税別）
- ・月額費用：5,000円（税別）

<手動での注文データ同期方法>

- 【1】「データ書出」をクリックします。
- 【2】futureshopの[発送情報の更新]をクリックします。

以上の方法で、手動での注文データ同期が完了します。

書出し対象

- 「新規」「キャンセル」ステータス以外の下記の条件を満たした注文
- ・GoQSystem上での最終更新日が4日以内の注文
- ・注文日が170日以内の注文

更新される項目

- ・出荷日
- ・伝票番号
- ・ステータス更新
- ・到着予定日

お届け指定日が入っていたらお届け指定日が入ります。
お届け指定日が指定なしの場合は空欄になります。

必ずお読みください

ポイント有効処理設定についてfutureshop管理画面のポイント有効処理設定にて「処理済時に有効」および「発送済み時に有効」としている場合は、APIでステータス移動を行ってもfutureshop側ではポイントが有効になりません。

ポイント有効処理設定

注文完了時に有効

1

一定期間経過後に有効

注文日の 日後

管理者が、管理画面から有効

2

選択された処理の実行時に有効

通常配送ポイント有効処理設定

3

発送済み時に有効

処理済み時に有効

弊社では【1】を推奨設定としています。

【2】【3】の場合はAPIでは更新されないため、手動で有効処理を行ってください。

・ポイント有効処理設定マニュアル

https://www.future-shop.jp/manual/settings/pointGeneral.html#available_point

・有効処理マニュアル

<https://www.future-shop.jp/manual/operate/point/opt-PointStatusOperationForward.html>

ポイントの有効か処理設定を「処理済み時に有効」「発送済み時に有効」以外で選択されている場合は設定不要です。